

## 南半球便り（その 58）：天皇誕生日レセプション II

2月16日

2月23日の天皇誕生日に先立って、14日に天皇誕生日のレセプションをキャンベラの大使公邸で行いました。

### 1. なぜ、14日？

「よりによって、何故バレンタイン・デーにやるのですか？」との問いかけがあるかもしれません。むろん、23日に実施できれば最善なのですが、現地事情に合わせて集客がしやすい日に行う必要があります。

キャンベラでは、連邦議会が開会される週が決まっています。閣僚や連邦議員の出席を得ようとする、議会が開会される週に開催しなければいけません。そうでないと、地元に戻っていて出席が期待できないのです。

今年は選挙の年。5月には与野党伯仲の決戦が見込まれています。そうした政治状況の下、限られた議会開催週をにらんで、2月14日開催としたのです。



多くの招待客で賑わった天皇誕生日レセプション

## 2. 多数の閣僚、議員の出席

お陰様で、日程調整の宜しきを得て、多くの方々の出席を得ることができました。主賓は、今会期限りで引退を決めている前下院議長のトニー・スミス氏。長年日本の友人として尽力いただいただけでなく、公平な議事運営を通じて与野党の垣根を越えて人望を集めてきた議会の大御所です。



トニー・スミス前下院議長と共に

加えて、常日頃から忌憚ない意見交換を重ねているトニー・アボット元首相の出席を得ることもできました。さらに、ティーハン貿易大臣、リー環境大臣、コルベック・スポーツ大臣の三人の現役閣僚が参加。



スピーチをするトニー・アボット元首相

政界に加えて、官界、経済界、文化人など、日、豪のみならず友好国の方々も加わり、実に昨年を大きく上回る 400 名近くが出席。「百花繚乱」の如き華やかな宴となりました。



三人の現役閣僚が出席

ティーハン貿易大臣（右上）、リー環境大臣（左上）、コルベック・スポーツ大臣（下）

### 3. 「キャンベラで最高のレセプション」

お陰様で、日本大使館のレセプションは、素晴らしい日本庭園、数々の日本料理が提供されることもあり、キャンベラでは評判の行事になっています。

今回は、岐阜県の力強いご協力を得て、日本直送の飛騨牛ステーキとイチゴを提供。やんやんやの好評でした。それだけでなく、若いながらも「昭和の人」の如き根性と熱意を持った小形公邸料理人の数日にわたる不眠の尽力により、何日もかけて煮込んだカレーやラーメン・スープを提供。

来客の皆様に、日本の味を心ゆくまで満喫してもらいました。

招待した豪州を代表する料理評論家が「驚嘆！素晴らしい」と絶賛するほどの味と品揃え。周到なおもてなしの甲斐がありました。



飛騨牛と小形公邸料理人



岐阜県産イチゴ



数々の日本料理を振る舞った。

また、日本人と豪州人の双方を親に持つ歌手のケイ・ヒューソンさんに君が代とオーストラリア国歌の斉唱をお願いしました。レセプション中のオリビア・ニュートン・ジョンの曲の熱唱を含めて、彩りと味わいが深まりました。



ケイ・ヒューソンさん

#### 4. オール・ジャパンの総力結集

「日出ずる国」の強みは、料理や音楽だけではありません。自動車、防衛産業、住宅建築、エネルギー産業、家電、航空、観光など、様々な分野を代表する名だたる日本企業が出品、展示。

トヨタ自動車の水素車「ミライ」をはじめとして、技術立国日本の粋の一端をしかと味わっていただけたものと思います。日本らしい土産袋を大使館として用意し、ヤクルトや各種パンフレットといった「お土産」を持って帰ってもらうことにしたのも、今回初めての試みでした。

また、裏千家の茶道、生け花のデモンストレーションが行われ、豪州人の注目と関心を集めました。日本独自の歴史ある洗練されたソフトパワーを感じてもらえたことでしょう。



裏千家の茶道と、生け花



日本企業の展示に関心を持つ招待客



トヨタ自動車の水素自動車「ミライ」

## 5. スピーチは刺激的で面白く

折角の機会なので、私のスピーチでは、この一年の日豪関係の進展を簡潔に振り返ることとしてみました。でも、霞ヶ関の役人仕事に慣れた人間がやると、どうしても冗長で退屈になってしまいます。「長く、くどく、うざい」三拍子から、どう脱却するか？日本の外交官の永遠の課題なのです。

今回は、というか今回も、少し軽いタッチで臨むこととしました。というのも、聴衆皆がグラスを片手に持ったまま、立って話を聞いている状況だからです。スピーチライターの才能のお陰で、現場は笑いが絶えない状況でした。

さて、その成果は？皆様のご判断に委ねます【スピーチは、[こちら](#)でご覧いただけます。】

「プレゼンは、日暮れて道遠し。」

一対一の戦いに強い外交官を目指し、鍛錬を続けようと思います。



日豪両国旗の前でスピーチ

山上信吾